

過去の「みどころ」はHPの  
2ページ目以降にあります



①ソメイヨシノ (バラ科)  
ウッドィ広場に4本のソメイヨシノがあります。



②エドヒガン (バラ科)  
ソメイヨシノよりは、少し早めに開花します。



③ヤマザクラ (バラ科)  
ソメイヨシノより少し開花が遅めです。

### ⑦カンサイタンポポ (キク科)

在来のタンポポのカンサイタンポポが咲いています。花を包む総苞片そうほうへん（花全体の基部を包むもの）が写真のとおり反り返らないのが特徴です。○印が反り返っていない総苞片です。



### ⑧アカシデの雄花 (カバノキ科)

雄花序は黄褐色で、前年枝から垂れ下がり端正な趣があります。



### ⑥コバノミツバツツジ (ツツジ科)

現在、ほぼ満開です。令和5年4月21日付けで植物群落としては三木市初の天然記念物指定を受けました。



### ④オオイヌノフグリ (オオバコ科)



### ⑤ホトケノザ (シソ科)

オオイヌノフグリ、ホトケノザは、早春～春にかけて小さいけれども可愛らしい花を咲かせます。



### ⑨ヤマナラシの雌花 (ヤナギ科)

ポプラの仲間、葉が微風でも揺られて音をたてることからこの名前が付けました。5月頃綿毛のついた種子を散布します。



### ⑩オカヨシガモの雌雄 (カモ科)

令和6年シーズンは、カモのメインがヨシガモからオカヨシガモに変わりました。4月上旬では下池を中心に三木山に留まっています。クチバシが黒いものが雄で、橙色のものが雌です。



### ⑪アオジ (ホオジロ科)

中部地方以北で繁殖します。兵庫県では冬鳥です。4月上旬現在、まだ三木山に留まっています。



### ⑫ホオジロ (ホオジロ科)

園内では、雄のきれいなさえずりがよく聞こえます。ちなみに、ホオジロは留鳥（1年中日本にいます。）です。



### ⑬トラフシジミ (シジミチョウ科)

蛹で越冬するため、成虫は早春から見られます。

### ⑭ルリタテハ (タテハチョウ科)

成虫で越冬するため、早春には飛び始めます。幼虫はサルトリイバラなどを食草とします。





### エドヒガン (バラ科) ①

森の三角橋近くのエドヒガンが満開です。写真で分かりますとおり萼筒（萼の下部の筒状の部分）が丸く膨れているのがエドヒガンの特徴です。メジロがエドヒガンの蜜を吸いに来ています。

今、ヒサカキが開花中です。花から漏れた都市ガスのようなにおいをまき散らしています。雌雄異株（雄と雌が別の株になります）で雄株に雄花が、雌株に雌花が咲きます。



ヒサカキ (モッコク科) の雄花②

雄しべが目立ちます。

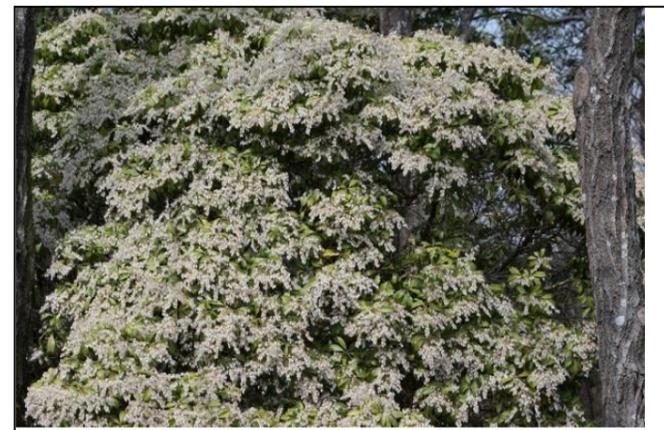


ヒサカキ (モッコク科) の雌花②

子房と3裂した花柱が見えます。



茶室の竹製の柵を三木山の竹を使って公園の労務で改築しました。きれいな竹の柵をお楽しみください。



アセビ (ツツジ科) ③

今、花が満開です。有毒植物です。



今シーズンはモミジバフウの実が豊作でした。例年以上の球果がイベント広場に広がっています。



モミジバフウ (フウ科) の球果④

独特の形をした球果が工作の材料として人気があります。

令和6年3月下旬

## みどころ

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

# Mikiyama

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

ヒサカキ②、アセビ③、コバノミツバツツジ⑤は園内各所で見られます。特にコバノミツバツツジはつつじ尾根に群生しています。



カワウ (ウ科) の勇姿

近くで見ると精悍な顔をしています。各地で糞の被害、アユ等魚の食害をもたらすカワウは困った存在ではありますが、上池、下池、奥池、中池間を自由自在に移動して、目の前で躍動的な飛行を見せてくれるため、園内では人気があります。



コバノミツバツツジ (ツツジ科) ⑤が咲き始めました。



ムスカリ (キジカクシ科) ⑥

早春に青紫色の花を咲かせます。



ユキヤナギ (バラ科) ⑦が白い花を咲かせ始めました



ヒュウガミズキ (マンサク科) ⑧

薄黄色の花を下向きに咲かせます。



### ホオジロの雄 (ホオジロ科)

園内では、雄のきれいなさえずりがよく聞こえます。顔の黒い色が雌では薄い感じがします。

### ホオジロの雌 (ホオジロ科)



他に食べるものが無くなってくると、ソヨゴの実を食べ始めるようです。

ソヨゴの実を食べるメジロ科 (メジロ科)



ヤマガラ (シジュウカラ科)

林内では、ヤマガラ、シジュウカラもよく見かけます。



### ニホンアカガエル (アカガエル科)

#### のオタマジャクシ①

多数産卵された卵塊から多くのオタマジャクシが生まれています。



### コウヤボウキ (キク科) の実③

高野山で枝をぼうき 箒として使用したことからコウヤボウキと呼ばれています。実は冠かん 毛 (毛状構造の萼) により風に乗って散布されます。



### ツグミ (ヒタキ科)

三木山では冬期シーズンの後半に登場することが多くなりました。



### アオジ (ホオジロ科)

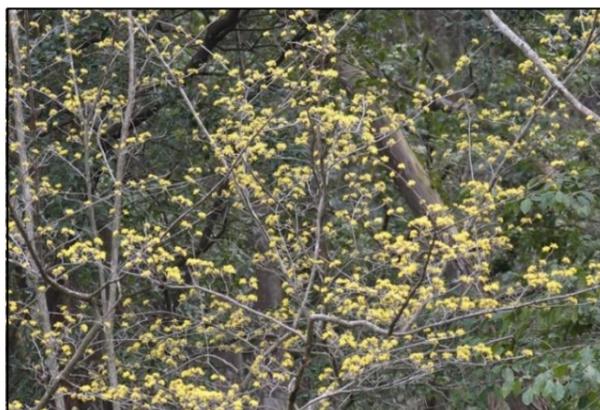
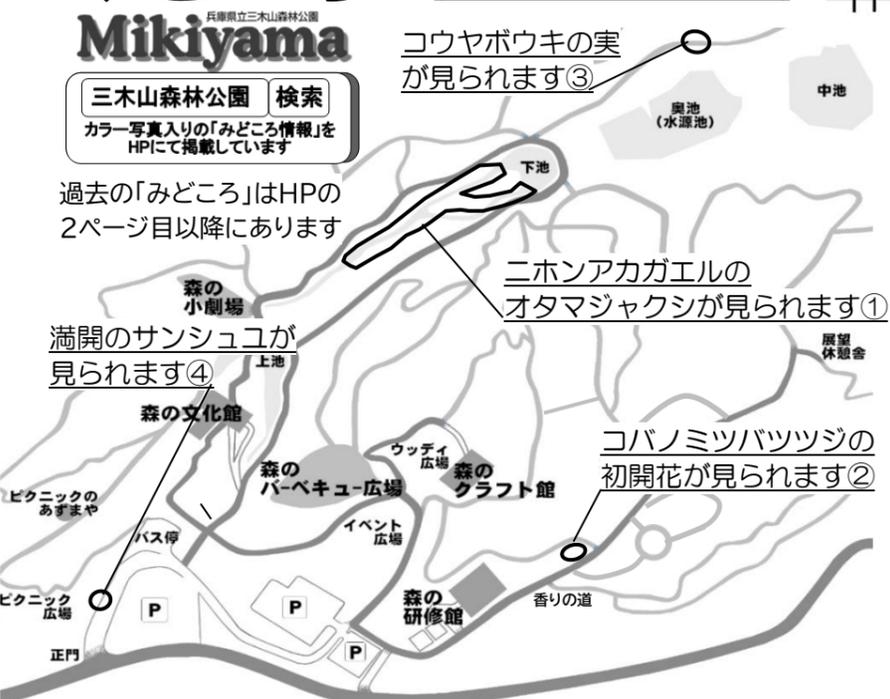
中部地方以北で繁殖します。兵庫県では冬鳥です。

コバノミツバツツジ (ツツジ科) の今シーズン初開花② 早咲きの個体が開花し始めました。



## みどころ Mikiyama

令和6年3月上旬



### 満開のサンシュユ (ミズキ科) ④

早春を代表するサンシュユが満開です。



### ショウビタキの雄 (ヒタキ科)

ツグミと同様、三木山では冬期シーズンの後半に登場することが多くなりました。雄、雌とも、後ろ姿で目立つ翼の白い斑紋が特徴です。



### ショウビタキの雌 (ヒタキ科)



### サンシュユ (ミズキ科) ①

早春に葉が出る前に黄色い花を咲かせます。秋以降には、赤い実も楽しめます。



### アセビ (ツツジ科) ②

有毒植物であるため、奈良公園などでシカが食べないことで有名です。漢字では、「馬酔木」と書きます。



### マンサク (マンサク科) ⑤

早春に葉が出る前にサンシュユと共に、黄色い花を咲かせます。



### ジンチョウゲ (ジンチョウゲ科) ⑥

クチナシ、キンモクセイと共に三大芳香木とも呼ばれています。



### ツグミ (ヒタキ科)

今シーズンはあまり見かけませんでしたが、やっと近くに来てくれました。



### ハクセキレイ (セキレイ科)

セキレイの中でも一番よく見かけるのがハクセキレイです。



### スズバチ (スズメバチ科) の巣⑦

専門家によると、スズメバチ科ドロバチ亜科のスズバチの巣とのこと。アラカシにくっついています。



2棟あるうちの1棟の建て替えが完了しました。

秘密の隠れ家③



ススキ草原の刈り払いが完了しました。

ススキ草原④



下池に1羽居るオオバンがストレッチをしていました。

オオバンのアクシジョン



### ミコアイサ (カモ科) の雌

雄はパンダの様な顔をして派手ですが、雌はそれに比べると若干地味です。三木山には昨年の1月にも雌が来ていましたが、すぐに居なくなりました。今シーズンの雌は今のところ長居してくれています。パンダ顔の雄にも来てほしいです。

# みどころ Mikiyama

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

## 令和6年2月下旬

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります



三木山でよく見かけるカモ達、オカヨシガモ、ヨシガモ、コガモ等の見た目の違いについてご興味のある方は、下記の「みどころ情報のバックナンバー」を是非参照してみてください。

- 令和5年12月下旬のみどころ  
<https://mikiyama.net/file/midokoro/12/2023-12-2.pdf>
- 令和6年1月上旬のみどころ  
<https://mikiyama.net/file/midokoro/1/2024-1-1.pdf>
- 令和6年1月下旬のみどころ  
<https://mikiyama.net/file/midokoro/1/2024-1-2.pdf>



三木山でヨシガモ (カモ科) 以上によく見かけるようになったオカヨシガモ (カモ科) の群れです。クチバシが黒いのが雄で、橙色をしているのが雌です。

オカヨシガモ (カモ科)



### カルガモ (カモ科) とミコアイサ (カモ科) (雌)

カルガモとミコアイサ (雌) の大きさの違いをご覧ください。



### 飛翔中のミコアイサの雌 (カモ科)

ちょうど飛び立ったミコアイサ (雌) です。

# みどころ Mikiyama

令和6年2月上旬

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

サルトリイバラの実⑤は園内各所で見られます。

ニホンアカガエルの卵塊が見られます④  
シナマンサクが咲いています③

マンサクが咲いています②

ヒメガマの綿毛が見られます⑥

ソシンロウバイが見られます⑦

白梅が咲いています①



**ウメ (バラ科) ①**  
紅梅よりも先に白梅が咲いています。



**ウグイス (ウグイス科)**  
警戒心が強いのか、なかなか姿を現しません。今回は、暗い森の中で一瞬だけ目の前に現れてくれました。



**キセキレイ (セキレイ科)**  
上池から下池に向かって流れている小川でみかけることが多いです。下腹部が黄色く良く目立ちます。



**シロハラ (ツグミ科)**  
今シーズンは、ツグミと共にあまり見かけません。本来、ガサゴソと枯葉を踏みながら餌を探しているのですが、今回は建物の入口で見かけました。



**マンサク (マンサク科) ②**  
早春に咲く花として有名です。



**シナマンサク (マンサク科) ③**  
咲く時期は、マンサクよりも若干遅めです。



**ホオジロ (ホオジロ科)**  
藪の入口でこちらの様子をうかがっていました。



**アオサギ (サギ科)**  
大型の鳥が上池、下池、中池の間を優雅に飛ぶ様子が来園者の皆様に喜ばれています。



**バン (クイナ科)**  
下池でよくみかけます。水鳥ですが足に水かきがないので、ぎこちない感じで泳ぎます。



**ニホンアカガエル**  
孵化してオタマジャクシになっています (アカガエル科) ④  
上池から下池に向かって流れている水路に産卵しているニホンアカガエルの卵塊が孵化し、小さなオタマジャクシになっています。



**サルトリイバラの実 (サルトリイバラ科) ⑤**  
藪漕ぎをする際には棘が痛くて困った植物ですが、実は大変きれいで目立ちます。



**ヒメガマの綿毛 (ガマ科) ⑥**  
現在、綿毛に付いた種子が大量に飛散しています。



**ソシンロウバイ (ロウバイ科) ⑦**  
下池の水源池側で咲くソシンロウバイは、例年咲く時期が少し遅めで、これから満開になります。



**カワウ (ウ科)**  
上池、下池、中池を行き来しています。比較的大型の鳥がダイナミックに飛ぶので、こども達に人気があります。潜水の名人です。

今シーズンは三木山に定着してくれました。



オカヨシガモの雄 (カモ科)



オカヨシガモの雌 (カモ科)



オオバン (クイナ科)  
バンとともに三木山ではお馴染みの水鳥です。

大型のサギであるダイサギとアオサギが同じ池に居ました。



ダイサギ (サギ科)  
周りで観察している人間の動きを注意深く見えています。



アオサギ (サギ科)  
ちょうど飛び立ちました。



ハシブトガラス  
(カラス科)

運んできたおかき(?)を大事そうに食べていました。



ニホンアカガエルの卵塊  
(アカガエル科) ①

今年も、上池から下池にかけての水路でニホンアカガエルの産卵が始まりました。



カワウの着水 (ウ科)

潜水の名人です。今シーズンはよく見かけます。他の池から移動してきて着水するところです。

毎年来てくれる三木山の冬鳥の代表格です。



ヨシガモの雄 (カモ科)



ヨシガモの雌 (カモ科)

早春を代表する花達の開花準備は万全です。

ソシンロウバイ  
(ロウバイ科) ②

三木山では1月の下旬から2月に咲き始めます。



ウメの花芽  
(バラ科) ③



サンシュユの実と花芽  
(ミズキ科) ④



マンサクの花芽  
(マンサク科) ⑤

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています



ホトケノザ  
(シソ科) ⑥

春になるとあちこちで咲き始めます。小さいですが、よく見ると可愛らしい花です。

みどころ  
Mikiyama

令和6年1月下旬

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

ホトケノザ⑥は園内各所で見られます。





ジョウビタキの雄（ヒタキ科）      ジョウビタキの雌（ヒタキ科）

冬になると現れる雄、雌ともに可愛い渡り鳥です。



サザンカの蜜を吸うメジロ  
（メジロ科）

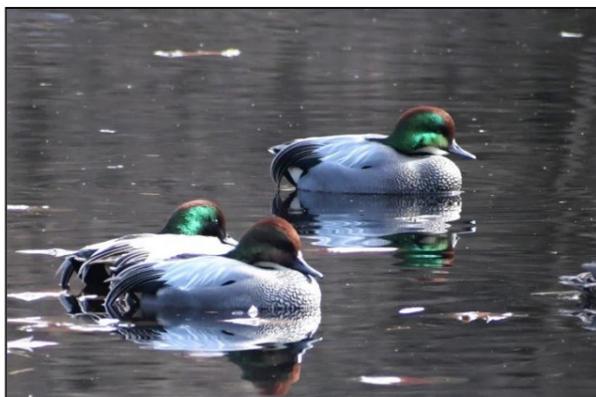
ツルウメモドキの実を食べる  
メジロ（メジロ科）

サザンカ、ツルウメモドキは、メジロの大好物です。



トチノキの冬芽  
（トチノキ科）②

トチノキの冬芽の芽鱗（がりん。冬芽を包んで守っている、鱗（うろこ）状の器官）はベトベトしており、冬芽を食べにくる虫などから身を守っています。



ヨシガモの雄（カモ科）      ヨシガモの雌（カモ科）

最近、毎年三木山森林公園に来てくれる冬鳥です。特に雄は光の当たり方で色が変わる美しい鳥です。

オカヨシガモの雌と違い、嘴（クチバシ）が黒色です。

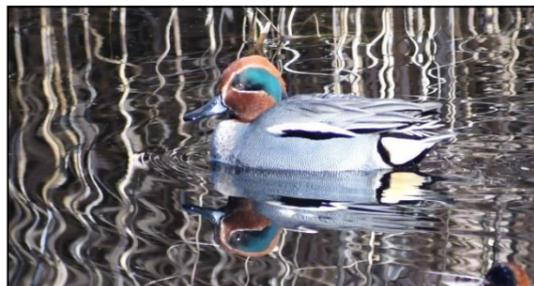


オカヨシガモの雄（カモ科）

昨年は少しみかける程度でしたが、今年は、雄雌そろって三木山森林公園に来ています。ヨシガモの雄と違い、ともに地味です。冬鳥です。

オカヨシガモの雌（カモ科）

雌の嘴（クチバシ）は、ヨシガモの雌と違い、橙色をしています。



コガモの雄  
（カモ科）

カモの中では、最も小さいですが、雄は色彩が美しくよく目立ちます。



門松①

三木山森林公園製のオリジナル門松です。



しめ縄①

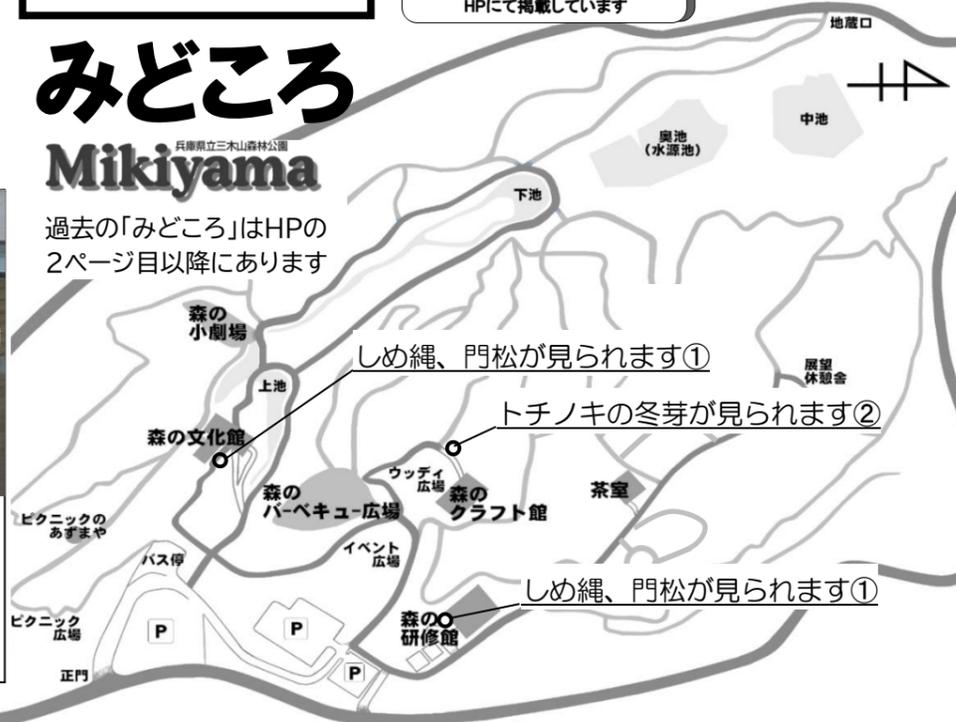
三木山森林公園のイベントで作成しました。

令和6年1月上旬

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」を  
HPIにて掲載しています

# みどころ Mikiyama

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります



オオバン  
（クイナ科）

オオバンは、潜る能力はバンより高く、長時間潜っています。



バン  
（クイナ科）

潜ってエサをゲットしました。



アオジ (ホオジロ科)

夏に北海道や本州北部で繁殖し、冬に積雪のない低地に移動します。



ムクノキの実がお気に入り入りのようで、10羽前後の群れでムクノキの実を食べていました。クチバシの辺りが怖そうなイメージを漂わせています。

ムクノキの実を食べるシメ (アトリ科)



モミジバフウの種子を食べるアトリ (アトリ科)

夏は、ユーラシア大陸北部で繁殖し、冬には、日本に冬鳥として渡来します。



悠々と飛ぶアオサギ (サギ科)

人が近づいて来たのを気にしてか、上池にいたアオサギが飛び立ち、下池方面に飛び去りました。



ヨシガモ (雄) (カモ科)



コガモ (雄) (カモ科)



オカヨシガモ (雌) (カモ科)

冬鳥で、下池、中池、奥池、上池間を移動しながら生活しています。



モミジバフウの種子を食べるカワラビワ (アトリ科)

留鳥で全国で繁殖します。



シヨウビタキ (雄) (ヒタキ科)

夏は、チベットやバイカル湖周辺で繁殖し、冬鳥として日本に渡来し、積雪のない地方で越冬します。



しばらくいなかったバンは、最近下池、中池に定着してきました。

バン (クイナ科)

三木山の上空をたまに旋回しています。ちなみにミサゴの英名は“Osprey (オスプレイ)”で、ホバリングするミサゴの飛び方にちなんで米軍の「垂直離着陸機」の愛称になっています。



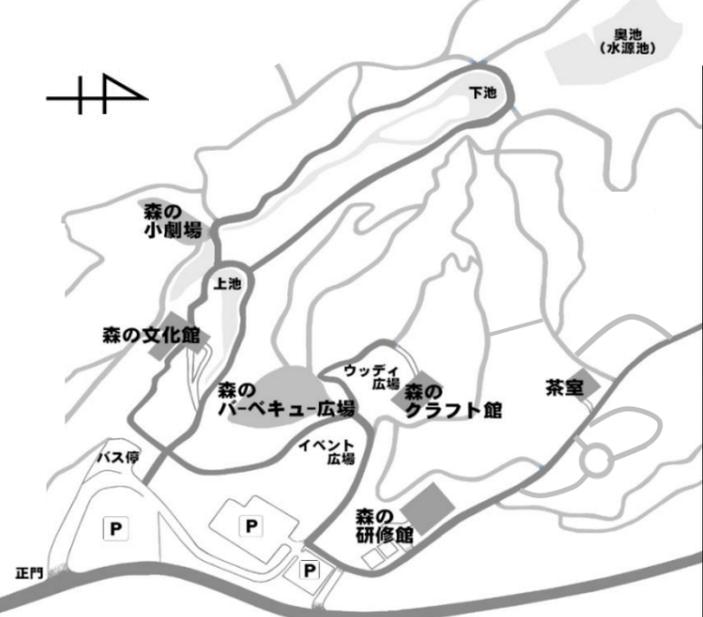
ミサゴ (ミサゴ科)

# みどころ

兵庫県立三木山森林公園 Mikiyama  
過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

令和5年12月下旬

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています



エナガ (エナガ科)

尾羽が長いエナガと針葉樹のネズミサシで休憩しているヤマガラは共に留鳥で、全国の山地、平地で生息しています。メジロやシジュウカラ、コゲラなどと混群(こんぐん。異なる種の鳥が1つの群れになることです。)しています。



ヤマガラ (シジュウカラ科)



成虫越冬するムラサキシジミ (シジミチョウ科)

成虫で越冬します。今回は、連絡道で成虫を確認しました。

# みどころ

Mikiyama

令和5年12月上旬

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

ムクロジの黄葉が見られます⑥

ガマズミの実と紅葉③、タカノツメの黄葉④、アカメガシワの黄葉⑤、コナラの黄葉⑦、は園内各所で見られます。

アオツツラフジの実が見られます⑩

カナメモチの実が見られます⑪

三木山ツリーが見られます①

イヌビワの花囊が見られます⑧

クロガネモチの実が見られます⑨

カマツカの実と紅葉が見られます②



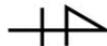
## 三木山ツリー①

イベント「三木山ツリーとリースづくり」で来園者の皆さんが作成した三木山ツリーとサンタクロース&トナカイ達です。夜にはライトアップしてミキナリエになります。



コナラの黄葉  
(ブナ科) ⑦

現在、ナラ枯れの影響で痛んでいるコナラが多いですが、本来、コナラ林の紅葉、黄葉は大変美しいです。



中池

上池

下池

奥池(水源池)

展望  
体験舎

森の文化館

森のバーベキュー広場

ウッディ広場

森のクラフト館

茶室

森の研修館

イベント広場

バス停

ピクニックのあずまや

ピクニック広場

正門



## ヨシガモ(雄)(カモ科)

徐々に三木山にも慣れ、中池にいるヨシガモの一部が下池デビューを果たしました。



## コガモ(雄)(カモ科)

11月下旬のみどころに記載のとおり、コガモは三木山に慣れ、下池の常連になっています。



## バン(クイナ科)

最近三木山では見かけなくなっていたバンが下池に帰ってきました。



赤い実も紅葉も楽しめます。

## カマツカの実と紅葉(バラ科) ②



赤い実も紅葉も目立ちます。

## ガマズミの実と紅葉(ガマズミ科) ③



## タカノツメの黄葉(ウコギ科) ④

三木山で多く生育している、3出複葉(小葉が3枚のものをこう呼びます。)の高木です。黄葉が透けるような黄色で大変美しく、若い芽は天ぷらにするとおいしいです。



## アカメガシワの黄葉(トウダイグサ科) ⑤

春の若葉が鮮やかな紅色のため、アカメガシワと呼ばれていますが、秋には大変美しい黄色に「黄葉」します。



## ムクロジの黄葉(ムクロジ科) ⑥

ムクロジの偶数羽状複葉(葉軸に小葉が偶数枚付いています。)がきれいに黄葉しています。



イヌビワの花囊  
(クワ科) ⑧

イチジクの仲間で雌雄異株。写真は雌株の花囊(イチジク属の花は「花囊(と呼ばれる)です。実(イチジク属の実は「果囊」と呼ばれます。)がビワに似ており、ビワ程には美味しくないので「イヌビワ」と呼ばれています。



## クロガネモチの実(モチノキ科) ⑨

雌雄異株(雌花と雄花を別の株に付ける植物)であるため、雌株にのみ赤い実を付けます。



## アオツツラフジの実(ツツラフジ科) ⑩

雌雄異株で、雌株に青から黒色に熟す目立つ実が結実します。有毒です。



## カナメモチの実(バラ科) ⑪

三木山には、比較的多く生育している常緑の小高木です。12月頃に実が赤く熟します。



ヨシガモ (カモ科)

冬鳥のヨシガモが今年もやって来ました。今は中池で三木山の様子をうかがっているようですが、そのうちに下池に姿を見せてくれるでしょう。



コガモ (カモ科)

コガモが大分三木山に慣れてきたようです。



キトンボ (トンボ科)

翅が鮮やかな橙色をしています。



ヤブコウジの実 (サクラソウ科) ①

ヤブコウジが林内でひっそりと美しい実を付けています。



サネカズラの実 (マツブサ科) ②

真っ赤な小さな実が球状に集まって枝からぶら下がっています。



イチョウの黄葉 (イチョウ科) ③

黄葉の真っ最中です。



ハナノキの紅葉 (ムクロジ科) ④

ハナノキの紅葉が始まりました。



上池の紅葉した逆さメタセコイア (ヒノキ科) ⑤



下池の紅葉した逆さメタセコイア (ヒノキ科) ⑥

紅葉したメタセコイアが、無風で鏡面になっている上池、下池にきれいに逆さに写っています。



カツラ (カツラ科) ⑦

黄葉した葉には良い香りがあります。



ノジギク (キク科) ⑧

県花ノジギクが美しく咲き始めました。



オオモミジの紅葉 (ムクロジ科) ⑨

イロハモミジより葉が大きいオオモミジが紅葉しています。



クヌギの黄葉 (ブナ科) ⑩

三木山では、数少ないクヌギがきれいに黄葉しています。



東地区のアズキナシの実と紅葉 (バラ科) ⑩

茶室では、葉が散ってしまっていますが、東地区では紅葉と実が同居しています。



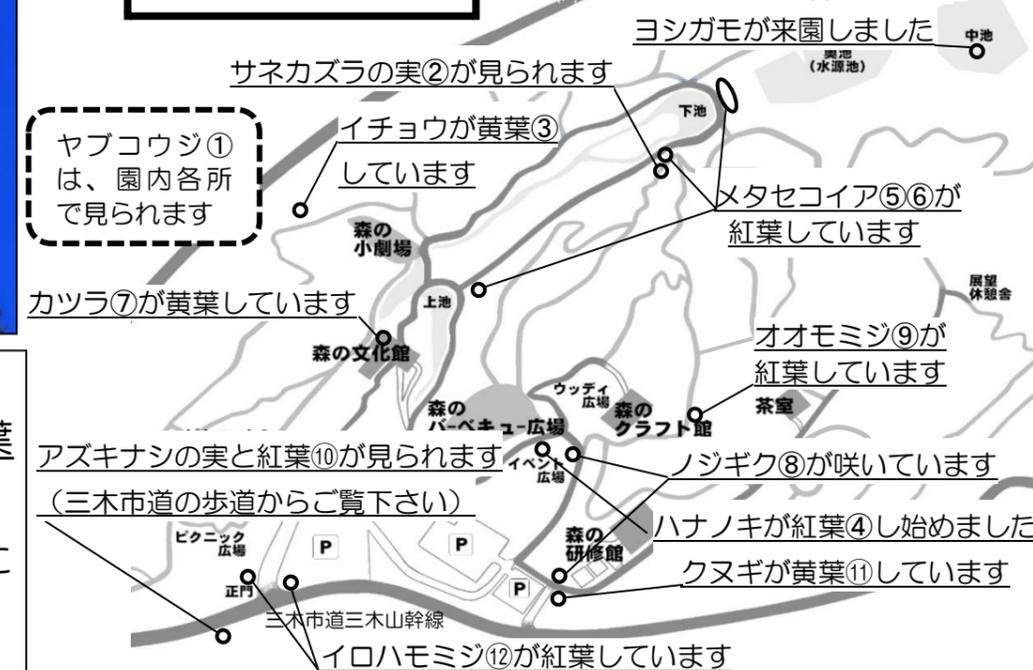
公園正門のイロハモミジの紅葉 (ムクロジ科) ⑫

公園正門のイロハモミジが真っ赤に紅葉しています。

# みどころ Mikiyama

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

令和5年11月下旬





エナガ (エナガ科)

森林を集団で移動しています。動きが素早いです。



ハイタカ (タカ科)

野鳥観察グループの活動日に久しぶりに登場してくれました。

アオサギ (サギ科)  
下池から上池に向かって移動しているところです。



やっと冬鳥が見られるようになりました。冬季を過ごす三木山ではまだ仲間内での縄張り争いの最中であり、人にも慣れていないため、近くには寄って来てくれません。



ジョウビタキ (雄) (ヒタキ科)

遠くの高木の先端にいました。三木山に馴染んでくると、人なつっこい例年どおりのジョウビタキになってくれるでしょう。



コガモ (カモ科)

登場初日は、下池に雄1羽、雌3羽が居ました。

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

エノキ⑤、ムクノキの実②が見られます

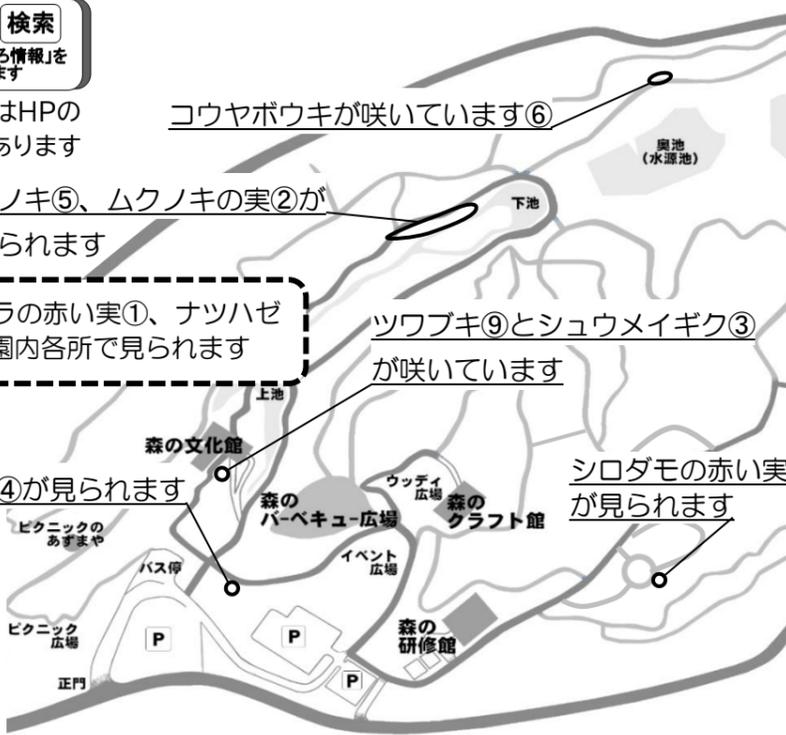
サルトリイバラの赤い実①、ナツハゼの紅葉⑦は、園内各所で見られます

コマユミの実④が見られます

コウヤボウキが咲いています⑥

ツツブキ⑨とシュウメイギク③が咲いています

シロダモの赤い実⑧が見られます



# みどころ Mikiyama 令和5年11月上旬



シュウメイギク (キンポウゲ科) ③

菊の仲間ではなく、キンポウゲ科アネモネ属の植物です。



コウヤボウキ (キク科) ⑥

高野山で箒の材料にしたことからこう呼ばれています。



ナツハゼの紅葉 (ツツジ科) ⑦

秋になると真っ赤に紅葉します。実は甘酸っぱい味がします。

サルトリイバラの赤い実 (バラ科) ①



とげ棘は藪漕ぎ時の困りものですが、赤い実は大変美しいです。

ムクノキの実 (アサ科) ②

秋に熟す実は小鳥たちに人気があります。



コマユミの実 (ニシキギ科) ④

ニシキギのうち枝に翼がないものがコマユミです。今年は裂開した実が特に美しいです。



エノキの実 (アサ科) ⑤

ムクノキ同様、エノキの実も小鳥たちに好まれます。



シロダモの実 (クスノキ科) ⑧

雌株では赤い実と雌花を同時に楽しめます。



ツツブキ (キク科) ⑨

海岸の岩場に生える植物ですが、花が美しいため観賞用に植栽されています。塩害に強く台風などで海水をかぶっても枯れません。



キイロスズメバチ  
(スズメバチ科) の巣  
(被害前) ①

順調に大きくなっていった頃の巣



キイロスズメバチ  
(スズメバチ科) の巣  
(被害後) ①

オオスズメバチの攻撃で巣が崩  
されました。



オオスズメバチとキイロスズメバチの争  
い後のそれぞれの死骸の数を比較する  
と、なぜか写真右側のオオスズメバチの  
死骸の数が、左側のキイロスズメバチの  
死骸の数を上回っていました。



キン  
モクセイ  
(モクセイ科) ②

良い香りが付近に広がります。  
既に芳香はしなくなっていますが、例年、三木山のキンモクセイは二度咲きしています。数週間後に再度芳香が付近に広がるのをご期待ください。



アズキナシの実  
(バラ科) ③

今年は、例年以上に多くの  
実が出来ました。葉が  
黄葉した後は、赤い実が  
良く目立ちます。



アラカシの若いドングリ  
(ブナ科) ④

今年はコナラのドングリが不作です。一方、アラカシ、シラカシのドングリは例年並みに出来ています。



シラカシの若いドングリ  
(ブナ科) ⑤



モチツツジの狂い咲き (ツツジ科) ⑥

本来、春に咲くモチツツジが季節外れの花を咲かせています。



サンシュユ  
(ミズキ科) ⑧

緑色であった実が熟して  
鮮やかな赤色になりました。



ソヨゴの実  
(モチノキ科) ⑨

雌木には赤い実が出来ま  
す。エサが不足してくると、鳥達がまとめて食べてしまいます。



カキノキの実  
(カキノキ科) ⑦

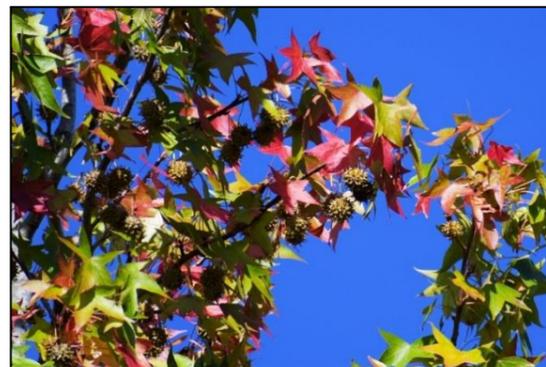
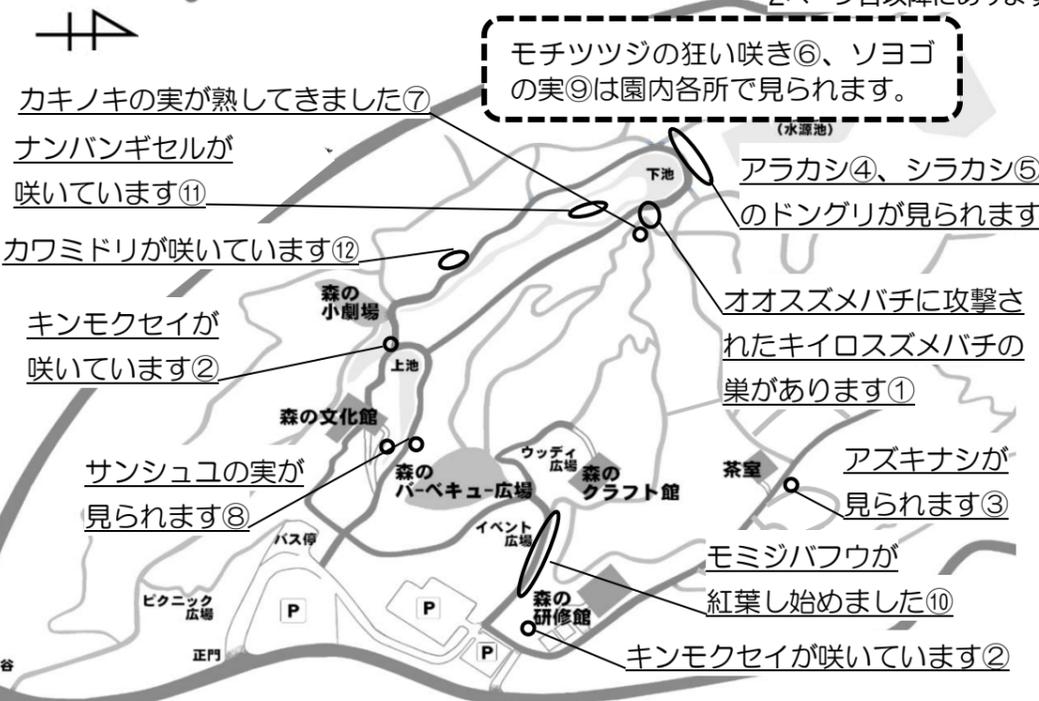
今年もカキノキが熟  
してきました。メジ  
ロやカラスが喜んで  
食べます。

# みどころ

令和5年10月下旬

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」を  
HPにて掲載しています

過去の「みどころ」はHPの  
2ページ目以降にあります



モミジバフウ (フウ科)  
の紅葉と今年の実⑩

今年は、一部の葉が紅葉前に痛んで  
しまっていますが、美しく紅葉して  
いる部分は例年どおりの美しさで  
す。個性的な形の実もあわせて楽し  
んでください。



ナンバンギセル  
(ハマウツボ科) ⑪

葉緑素が無く、イネ科  
(ススキ)の根に寄生す  
る一年草です。煙管に似  
た形をしています。



カワミドリ (シソ科) の蜜を吸う  
ホシホウジャク (スズメガ科) ⑫  
蜂のイメージの蛾であるホシホウジャ  
クが、カワミドリの青い花の蜜を吸っ  
ています。